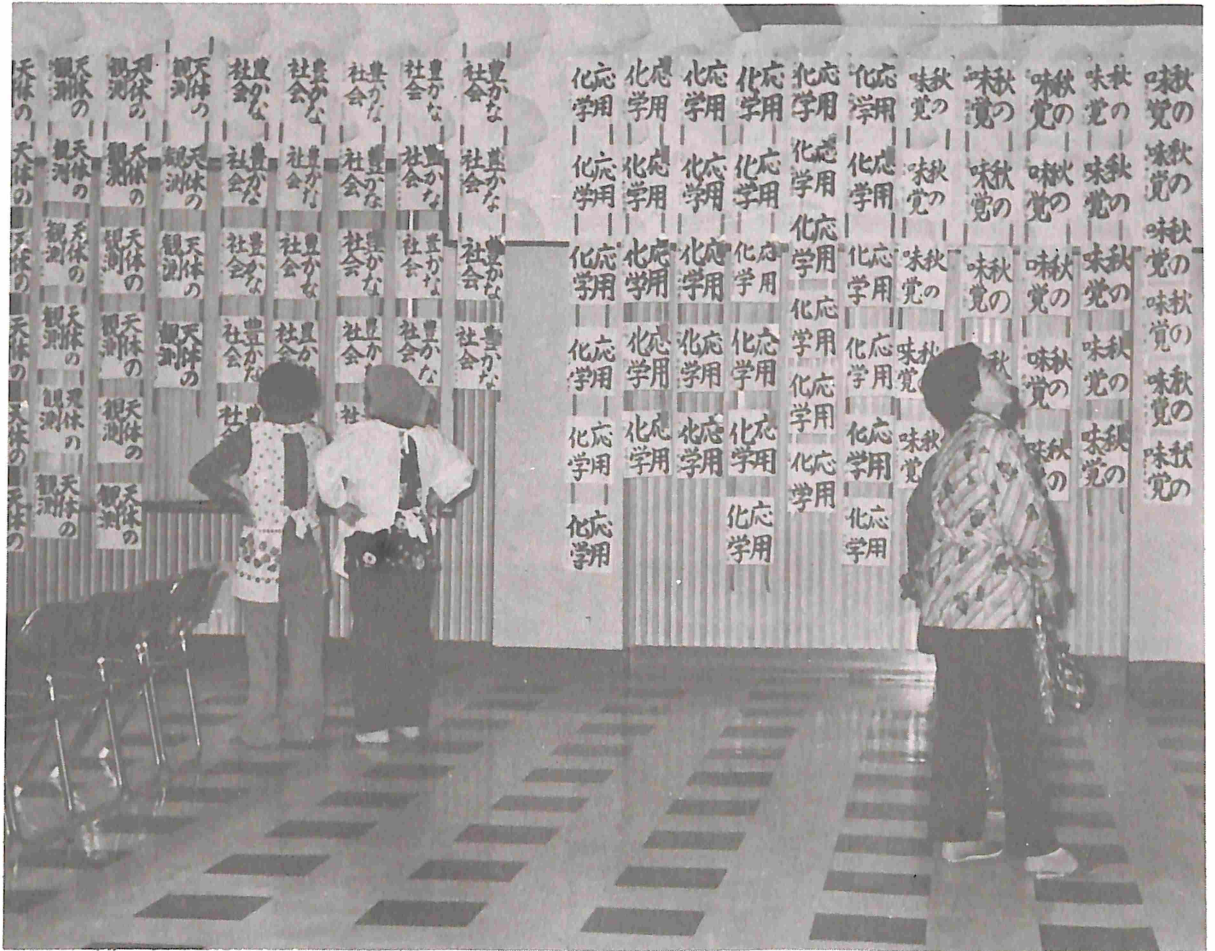


# 金木だより

発行 青森県金木町役場  
編集 企画 室

昭和52年11月号



盛況だった

## 第三回金木町民文化祭

一昨年からは始められた「町民文化祭」は今年で三回目。毎年十一月三日の「文化の日」にちなんで二日から四日までの三日間行われているが、今年ほど賑わいをみせた年はなかった。

初日に当たる二日は、まだ準備し終わっていない所もあるせいか午前中は観客もまばらだった。それでも午後になると、民謡・手踊りなどで賑わっていた。

二日目は「文化の日」であり、各学校の学芸発表があったため会場は超満員。それこそ蟻の這い出るスキもないほどに観客が集まったホールでは、「奴物語」「サルカニ合戦」など子供たちの芸に大喝采。

来年は、もっともっとすばらしいものに盛り上げよう。

# 一日税務署

## 税金の使いみち

### 知ってますか

十一月十六日、金木町中  
 央公民館で「一日税務署」  
 が開設され、日頃わたした  
 ちが無意識に納めている税  
 金がこういうものなのかと  
 心をよんでいました。  
 ところで、税金の使いみ  
 ちを知っていますか。  
 わたしたちの暮しと最も



『一日税務署』

密接な関係にある  
 のが税金です。学  
 校・公民館・児童  
 館・病院・老人ホ  
 ーム・住宅などの  
 建物や、公園・グ  
 ランド・道路など  
 の整備等、数えあ  
 げたら切りがない  
 ほどです。国税一  
 ○○○円当りの使  
 いみちをみますと  
 国民の健康や生活  
 を守るために二四  
 一円、住宅・道路  
 に一五〇円、教育  
 ・科学に一〇〇円  
 、地方財政援助に  
 一七三円などとな  
 っています。また  
 地方財政援助では

青森県から集めた国税の三  
 ・五倍が交付金や補助金と  
 して昭和五十一年度県に入  
 ってきています。

教育関係では、小学生一  
 人当り三〇万一千円、中学  
 生三五万三千円、高校生四  
 〇万九千円、大学生一二八  
 万円が、教科書・教材・給  
 食などとして使われていま  
 す。

このように、税金はわた  
 したちの生活を助けて負担  
 が軽くなるよう使われてい  
 ます。

ところで、一口に税金と  
 いても内容がさまざまで  
 す。大きく二つに分けら  
 れます。一つは直接税で

商店主などがもうけの中  
 から納める申告所得税、サ  
 ラリーマンが毎月の給料の  
 中から納める源泉所得税、  
 会社が利益の中から納める  
 法人税、財産を相続した人  
 が納める相続税や、もらっ  
 た人が納める贈与税などが  
 直接税です。

これとは別に、清酒・ビ  
 ールなどの価格に含まれる  
 酒税、テレビ・ステレオな  
 どの価格に含まれる物品税

のように、品物を買った人  
 などが最終的に税金を負担  
 するものが間接税です。  
 こうしてみますと、よく

もまあ税金を取られるもの  
 だと思えますが、税金の負  
 担状況を示すものに租税負  
 担率があり、これを諸外国

に比べてみると、アメリカ  
 二七・九割、イギリス三七  
 ・二割、西ドイツ三〇・五  
 割、フランス二七・九割、

場税務課へお出下さい。

## 藤元清氏

### 勲六等瑞宝章 受章

元金木町消防団第六分団  
 長の藤元清氏は、秋の生存  
 者叙勲により、勲六等瑞宝  
 章を受章されました。

藤元氏は、昭和十四年四  
 月消防団に入団以来、同五  
 十年一月まで数多くの功績  
 を成し、わが身の危険を顧



日本一七・八割となってお  
 り、わが国はかなり低い状  
 態にあります。税金を納め  
 るときは、わたしたちの生  
 活に役立っていることを考  
 えて、自発的に納税いたし  
 ましょう。

税金について、わからない  
 こと、知りたいことなど  
 がありましたら、お気軽に  
 五所川原税務署、または役

みずその業務を全うした三  
 十六年間に認められて今回  
 の受章となったものです。

これまでも消防庁長官表  
 彰の永年勤続功労章など多  
 くの表彰を受けている藤元  
 氏は、「天皇・皇后両陛下  
 に女房共々お会いできて本  
 当にうれい。病院で入院  
 していたので、体を大事に  
 していきます」と、陛下に  
 拝謁したときのようすを語  
 ってくれました。

やあ  
 は長です

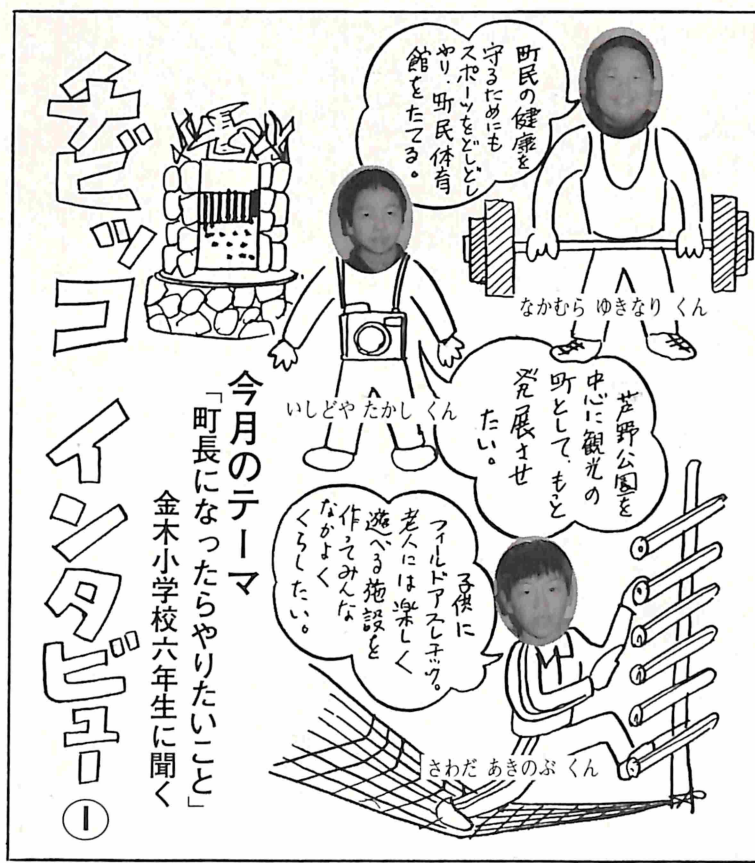
昭和五十三年度は、  
 建造物関係だけでも、  
 統合金木小学校、幼稚  
 園、保育所、温泉つき  
 の福祉センター、金木  
 病院新築等、その計画  
 事業量は大変なものだ  
 である。  
 赤字を解消し、尚且  
 つ県下全町村で最高の  
 累積黒字を出したとは  
 言え、このままでは又  
 赤字団体に転落しそ  
 うである。  
 しかし、来年度建設  
 の種々事業とは別に近  
 頃強く感じられること  
 は、当町にもそろそろ  
 「町民体育館」が是非  
 必要だということ。  
 スキー熱は別格とし  
 ても、水泳、球技等、  
 若人から老人に至るま  
 で、何と金木町民のス  
 ポーツ好きなことか、  
 夏の休日はトレパン姿  
 が溢れるばかり。  
 町民体育館の建設が  
 必要。  
 公園、斜陽館、太宰  
 資料館と、「太宰の町  
 」はいよいよ全国的な  
 観光の町に飛躍する日  
 は近い。

# 第二十九回人権週間

## 12月4日～10日

わが国では、毎年12月10日を最終日とする一週間を「人権週間」とし、法務省および全国人権擁護委員連合会の共催により、各種関係機関の協力のもとに、

差別の解消 および「婦人の地位向上」です。最近においても、社会の各分野で、自己の権利のみを主張して他人の人権を顧みないという風潮が見受けられ、日常生活の中にもこれに起因すると思われる人権問題が多発している現状にかんがみて、この人権の共存の精神を、最も身近



今月のテーマ  
「町長になったらやりたいこと」  
金木小学校六年生に聞く

# スポーツ賞

かな地域社会である近隣社会における日常生活の行動のなかで実現しようと呼びかけるものです。

「部落差別の解消」は、同和对策事業特別措置法が施行されて既に八年を経過しているが、一昨年に「部落地名総鑑」という部落差別を拡大助長する極めて悪質な冊子が発売され、かなりの企業が購入していた事実が明らかにされ、その後も次々と類似事件の発生がみられます。また、家庭・近隣・学校・職場等においても、部落差別による人権

侵害が跡を絶たない現状にあるため、いまなお潜在する差別観念を早急に解消しようというものです。

また「婦人の地位向上」は、本年一月二十七日に婦人問題企画推進本部において「国内行動計画」が決定され、今後十年間の展望にたつて、わが国における婦人問題についての目標と課題を明らかにして、これに沿って施策を計画することとされたことに伴い、婦人の地位向上のため男女平等の理念の一層の普及高揚を図ろうとするものです。

## 金木町スポーツ賞

### 八名が受賞

金木町では、毎年体育の日を記念して、スポーツ功労者を表彰していますが、今年度はあすなる国体やインターハイ、身障者スポーツ大会で活躍した次の八名を表彰しました。

- 金高 荒関秀悦(重量拳)
- 岩田 誠( )
- 伝法谷勝( )
- 一般 白川陵子(洋弓)
- 金高 岩田 浩(重量拳)
- 中畑 実( )
- 柔道少年の部で国体第三位の角田幸さん、陸上四〇メートル第四位の木造高

人権問題でお困りの方は人権擁護委員か、最寄りの法務局にご相談下さい。

金木町では、次のかたがたが人権擁護委員に委嘱されています。

- 中谷仁太郎(川倉) 二一三〇二二
- 坂本 義音(喜良市) 二一三三八六
- 神島 安次(嘉瀬) 三一二五三三
- 伊丸岡浅五郎(喜良市) 二一三〇七二
- 伊藤 儀市(金木) 二一二五〇三

教員外崎雅裕さん、重量拳優勝の荒関秀悦さん、準優勝の岩田誠さん、第六位の伝法谷勝さん、アーチェリー第一位・槍正確投第一位の白川陵子さん、インターハイ重量拳第六位の岩田浩さん・中畑実さんといずれも県内外において、当町の名を高からしめ、スポーツ振興に多大な貢献を為したもので、今後の発展を大いに期待されています。

# 町民文化祭



金木の生んだ大作家「太宰 治」



うちの子のがあるかな？



うまいもんだね



イイ声きかせて〜エ



おいしいかい？ うん！



婦人会も食堂で大奮闘

## 税コーナー

十二月は源泉所得税の年末調整の月です。

サラリーマンの所得税は毎月の給料やボーナスの支給のときに源泉徴収されています。しかし、その月の給料に対する税金は概算的なものですから、その年間合計額は、一年間の給与総額に対する正規な税額（年税額）とは一致しないのが普通です。このため、その年最後に給料が支払われるときにその差額を精算します。これが年末調整です。

年末調整では、扶養控除や生命保険料控除、二年目以降の住宅取得控除などが行われますが、これらの控除の金額は、サラリーマンの皆さんが勤務先に提出する申告書によって計算されますので、誤りのない申告をすることが大切です。

なお、多額の医療費を支払った場合の医療費控除や災害にあった場合の雑損控除などを受けるには、税務署に確定申告をすることになります。



カニツ カニツ カニツ カニツ

# 第3回金木



こぼさないでね～



おらだじの唄コ きいでけへえ～

## 新有権者

### 感想文募集

新有権者として、また  
 社会人として、選挙を経  
 験するなどにより地方自  
 治や国政への参加につ  
 て自身自身で経験したり  
 考え感じたことなどの感  
 想文を募集しています。

(標題・字数)

標題は自由。

一六〇〇字以内

(応募資格)

昭和32年1月1日から  
 昭和33年12月31日まで  
 に出生した者。

(締切日)

昭和52年12月31日

(当日消印有効)

(申込み・その他)

金木町選挙管理委員会

(役場内線37番)へ

どうぞ。



第2会場では 農作物の展示

- (8月届出分)
- |              |              |             |             |             |             |              |              |              |               |              |              |              |               |              |              |               |              |
|--------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------|--------------|---------------|--------------|
| 荒井 明浩(明美) 金木 | 鎌田 千夏(光守) 嘉瀬 | 中谷 志保(繁) 川倉 | 中野 俊美(治) 金木 | 小林 梢(勝彦) 金木 | 原田 旭(武光) 嘉瀬 | 小松 正也(正義) 嘉瀬 | 山中 和弥(朝幸) 嘉瀬 | 小野 泰弘(正昭) 金木 | 白川 江里子(義康) 川倉 | 富士 嗣海(信一) 金木 | 山田 幸成(政夫) 金木 | 野呂 佳央(清春) 嘉瀬 | 加藤 梨香(富雄) 喜良市 | 工藤 麻記子(孝) 川倉 | 木村 美樹(繁孝) 金木 | 松川 さおり(義孝) 嘉瀬 | 角田 浩代(光男) 金木 |
|--------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------|--------------|---------------|--------------|



